

北海道男女平等参画 チャレンジ賞

平成18年度



「いしやま朝市」で～中央が古内一枝さん

苫前町の文化体験プログラムで指導中～斎藤ちずさん



養豚放牧風景～岡田ミナ子さん

ごあいさつ



北海道知事
高橋 はるみ

平成18年度の北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆様、本当におめでとうございます。

道内各地で、それぞれの個性と能力を生かして活躍されている方々の活動を称えとともに、その活動を広く紹介し、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目指して創設したこの賞も、今年で3年目を迎えました。

これまで、IT分野での起業や子育て・介護支援、本道の自然の恵みを生かした食品開発など、様々な分野でたゆみない挑戦を続けておられるの方々をご紹介します。

今年はこれまでとは一味違う、新たな形のチャレンジに出会うことができ、とても嬉しく、そして、心強く感じています。

今後も、北海道らしいチャレンジが次々と生まれ、その輪がさらに広がっていくことを期待しています。

受賞された皆様におかれては、今後も一層活躍され、ますます輝きを増していけますよう、心からお祈りしています。

《北海道男女平等参画チャレンジ賞とは》

職場、地域、家庭、その他の社会のあらゆる分野で、それぞれの個性と能力を生かしてチャレンジしている方々や、そのよう活動を支援している方々を知事が表彰する賞で、平成16年度から実施しています。

受賞された方々の活動をご紹介しますことにより、チャレンジの具体的なイメージを道民の皆さまにお伝えし、男女平等参画の視点から新たにチャレンジしていく人々の輪を広げていくことを目的としています。

なお、平成18年度から、自薦・他薦を問わず候補者を公募しています。

賞の種類は次のとおりです。

「輝く女性のチャレンジ賞」、「輝く男性のチャレンジ賞」(個人)

「輝く北のチャレンジ賞」、「輝く北のチャレンジ支援賞」(団体・グループ)

受賞された皆様へ

北海道男女平等参画チャレンジ賞選考委員会
委員長 藤女子大学教授 伊藤 明美

平成18年度北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された3名の方々に心からお祝いを申し上げます。

今年は偶然にも応募者が全員女性(および女性団体)でしたが、受賞者に共通する特徴は、行動力とそれを支える活動理念、そして困難を乗り越える強い意志であったと思います。それぞれの活動は、「今、何が必要で、それは何故か」を明確にとらえた目標設定型ともいえるもので、地域の持つ潜在的魅力を再構築するとともに、特定の地域を越える力強さを持っておりました。従来、女性の関心や活動は、生活に根ざした小さな領域で昇華しがちと思われてきましたが、今年、チャレンジ賞を受賞された方々の活動を拝見しますと、私たちは今、こうした考えを改めなくてはならない時期にあることを強く感じます。

受賞者の皆さまの益々のご活躍を祈念いたします。

なお、今年度の応募者(含団体)の多くは、その活動においていずれも優れた分析力、多面的思考、先駆性などを発揮されており、受賞者の選考は困難を極めたことを申し添えます。

【輝く女性のチャレンジ賞】

さいとう ちず
齋藤 ちずさん

(札幌市、NPO法人コンカリーニョ 理事長)

愛媛県出身で、北大に進学して演劇に魅せられ、役者として劇団設立に関わり、劇団解散後は演出家、プロデューサーとして活躍しています。1995年から、昭和初期建造の石造倉庫を改装した劇場「コンカリーニョ」を、演劇、音楽、ダンスなど様々な演目で運営し、その多彩なメニューは各地の民間ホールでも参考とされるほどでした。

その劇場が2002年に都市再開発計画により閉鎖となった後、再建に向けた委員会の代表として精力的に建設資金集めに駆け回るとともに、札幌市の施設「ことにパトス」の管理運営や道の文化事業の受託、地元商店街の催しの企画運営など、様々な活動に取り組みしました。

2006年5月、多くの人々の支えにより、地域とひとと文化を結ぶ「生活支援型文化施設」として劇場を再建、地域の人々を役者に、地域の歴史を元にした創作劇など、地域の文化拠点として様々な事業を企画、また、劇場の中だけでなく、劇場の外でも地域コミュニティに寄与する活動を行っています。

単なる劇場運営に留まらず、地域づくりと芸術文化活動を結びつけるユニークな取組を、持ち前の柔軟な発想と行動力で次々と展開しており、その独創的な運営方法は全国的にも注目を集めています。また、地域に密着した地道な活動で、地域の人々にも「まちの劇場」と親しまれています。

さらに、活動に共感して集まった運営ボランティア、スタッフが、性別に関わりなく、各々が自分のできることに取り組める、懐の深い活動の場となっています。

現在高校生になる長女が生まれてからも、パートで働きながら演劇を続け、離婚を経て、様々な困難もありながら「子育てと仕事と芝居」をこなしてきました。発想がユニークであり、様々なアイデアをこらして、自ら築き上げた豊かなネットワークを生かして、様々な企画の実現に精力的に取り組んでいます。試行錯誤しながら、自らが決めた道を進む姿は、多くの道民に元気と希望を与えるものと言えます。

初代劇場のユニークな運営の後、劇場閉鎖により活動拠点が失われた期間も活動は休むことなく、また、日々道内外の情報収集や自己研鑽に怠りなく、シンポジウムや講演等にも積極的に参加しています。今後も、芸術文化を生かしたまちの拠点づくりを目指し、より一層多彩な活躍が期待されます。



商店街の催し「琴似あーとdeバザール本通り」で

【輝く女性のチャレンジ賞】

おかだ みなこ
岡田 ミナ子さん

(遠軽町、有限会社トゥリリアム・オカダ・ファーム 取締役)

東京都出身で、酪農学園大学卒業後、1974年に結婚。白滝村で実習した後、1976年に、白滝村初の新規就農者として、夫婦で酪農を開始しました。その傍ら肉加工品を販売、1996年からソフトクリームの原料の製造販売に乗り出し、同年、畜産加工品部門として、「有限会社トゥリリアム・オカダ・ファーム」を夫とともに設立し、取締役に就任しました。経営に参画しながら、家庭の主婦として1男2女を育て、経営規模、事業等の拡大を着実に進め、現在では、白滝地域の優良酪農家の一員として地域で活躍しています。

畜産分野の生産から販売に係わる酪農の多様性を見いだす活動は先駆的であり、また、厳しい気候条件のなか家族経営の楽しみや、農業のすばらしさを多くの人たちに理解してもらう活動に取り組んでおり、営農や産直の傍ら、月刊誌の編集委員や新聞のコラム執筆のほか、講演を行うなど、仲間や消費者に「田舎だから、農家だから、女性だからできること」のメッセージを全国に発信しています。1998年には、入植後23年間の農業活動を本にまとめ、仕事の楽しさ、農業への思いを伝え、全国の消費者・農業者にエールを送りました。

農業に夢を持つ就農希望の研修生を多く受け入れており、自己の経験を生かした悩み事相談やアドバイスで、研修生の母親代わりとして慕われています。また、地域の子どものためにピアノ教室を開き、音楽の楽しみを教えるとともに、文化活動にも熱心に取り組んでいます。

全国女性農業経営者会議副会長、北海道農業担い手育成センター就農アドバイザー等の役職を歴任、講演会活動等の支援も併せて行い、普及事業を通して農畜産加工グループに起業活動のノウハウを提供するなど、活動のレベルアップに大きく貢献しています。

多くの業績に裏打ちされた卓越した指導力、誠実な人柄、幅広い知見や見識、業種にとらわれない仲間づくりなど、社会の模範となるものであり、生産者と消費者との交流による農業の活性化、多様化を積極的、行動的に図り、農業者に夢と希望を与えています。自らの理念を積極的に外に発信しており、今後も、地域農業の振興、町の活性化、担い手育成など、一層の活躍が期待されます。



物産展販売風景



【輝く女性のチャレンジ賞】

ふるうち かずえ
古内 一枝さん

(札幌市、株式会社スポーツショップ古内 取締役専務)

商店街の再生、コミュニティの再生という現代の地域が抱える課題に、行動力あるリーダーとして真正面から精力的に取り組んでいます。

専務を務める商店で独自の少年野球大会等を主催するほか、地域の商店街では、イベント実行委員会の中核的メンバーとして地域のコミュニティ活動に取り組んでおり、郊外大型店との競合で生鮮食料品店が皆無になった石山地区で、住民と商店街との対話で実現した「いしやま朝市」では、実行委員会代表を務めています。

また、地域の商店街や道の商店街振興組合女性部の活動で、商店街の活性化や組合員の資質向上を図る取組を積極的に企画・実施するなど、道内商店街の活性化と人材育成に尽力しています。

こうした様々な地域コミュニティ再構築のための活動により、地域住民・各種団体等との連携が強化され、地域への結束が生まれています。地域住民参加によるまちづくり活動の成功事例として道内の商店街や女性部活動のモデルとなるものであり、今後、他地区への波及も期待されます。

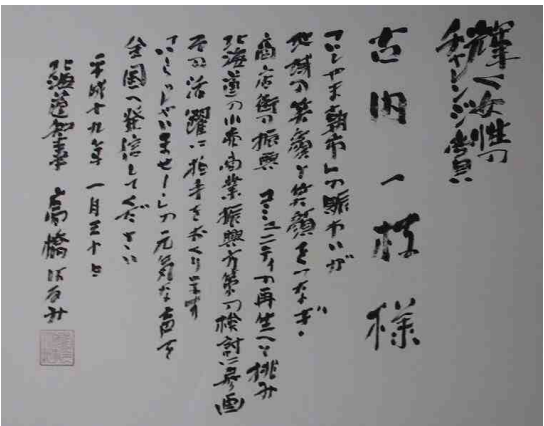
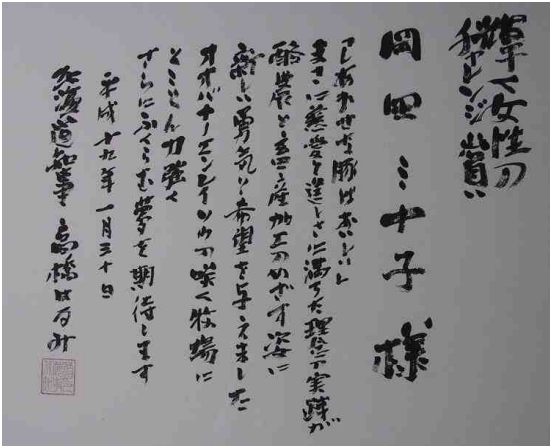
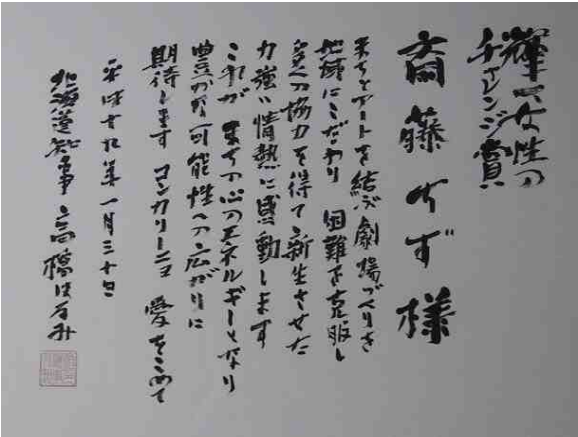
17年度から北海道商工業振興審議会委員として、また、17年度に設置された当審議会部会の小売商業振興方策検討部会の委員として、道の中小小売商業振興施策・方針の検討過程に参画、生活者・母親・商業者として、日頃の商業活動や地域コミュニティ活動など現場感覚に根付いた発言・提言などを行っており、女性が商店街や地域を考え、意見を発信しなければならないと思いを行動で示しています。小売商業振興施策の検討過程への女性委員の参画は先駆的であり、また、地域のコミュニティ活動でも実行委員会の代表として積極的に取り組んでいます。女性らしい視点と感性で今までの枠にとらわれない活動を展開しており、女性の活動領域を拓いていると言えます。

地域コミュニティ・まちづくりにおける、少子高齢化、子育て、防犯治安、交通、商業、文化など様々な分野にわたる課題に関して、関係者を巻き込みながら活動を広げており、今後も地域住民・各種団体等と連携して、様々な分野での活躍が期待されます。



商店街女性交流セミナー





[副賞『Pouring - 注ぐ - 』 作：前野右子氏]

はくよう
[作詩：齊藤征義氏、揮毫：高橋陌遙氏]

- [平成17年度の受賞者]
- 輝く女性のチャレンジ賞.....田澤由利さん（北見市、株式会社ワイズスタッフ代表取締役）
 - 輝く北のチャレンジ賞.....NPO法人お助けネット（白老町、代表・中谷通恵さん）
 - 輝く北のチャレンジ賞.....西川マザーウッズ（静内町、会長・船越孝子さん）
- [平成16年度の受賞者]
- 輝く女性のチャレンジ賞.....星川光子さん（登別市、NPO法人「いぶりたすけ愛」理事長）
 - 輝く男性のチャレンジ賞.....馬淵悟さん（札幌市、北海道東海大学教授）
 - 輝く北のチャレンジ支援賞.....株式会社アイワード（札幌市、代表取締役・木野口功さん）

北海道環境生活部生活局参事男女平等参画グループ
平成19年1月
TEL:011-204-5217(直通) FAX:011-232-3640